

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Aクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月27日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月11日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月18日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月1日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月8日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月15日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月22日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月29日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月6日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月13日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月20日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月7日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月14日	試験	前期理解度試験	
15	9月21日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	デザインベーシック I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	菊池信二
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	商業イラストレーター TCA講師歴11年						
授業の学習 内容	平面構成(輪郭線やタッチ、ディテールを使わず、色面のみによる画面構成)の実習を通し、色と形の基本を学ぶ。ポスターカラーによる表現(手作業)の実習を通し、PC作業以前に必要な本質的な基礎力と忍耐力をつける。アイデアラフ～下描き～彩色～仕上げといった作業の流れを把握し、定められた期間内で作品を完成させる自己管理能力を高める。						
到達目標	色(明度・色相・彩度・トーン等)と形(直線・曲線・シルエット等)の特徴を理解し、それらを活かしたバランス良い画面構成ができるようになる。 手順に沿った丁寧なアナログ作業ができるようになる。 また、完成にむけ各工程の時間配分ができるようになる。						
評価方法と基準	課題評価試験 50% 課題プレゼンテーション 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義と演習	・自己紹介 ・授業の流れ、使用画材についてのガイダンス	
2	5月13日	講義と演習	・「明度」についての講義 ・グレースケールの作成演習 ■提出	・グレースケールによる演習
3	5月20日	講義と演習	・「色相」についての講義 ・12色相環の作成演習 ■提出	・12色相環の着彩
4	5月27日	講義と演習	・「彩度」「トーン」についての講義・平面構成のポイントを説明 ・異なるトーンによる平面構成の作成(アイデア出し)	・平面構成のアイデア
5	6月3日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成(ラフデザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
6	6月10日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成(下描き、着彩)	・平面構成の着彩
7	6月17日	実技	・異なるトーンによる平面構成の作成(着彩、仕上げ) ■提出	・ペン画による演習
8	6月24日	講評会	・グレースケール・12色相環・トーンの平面構成の講評	
9	7月1日	講義と演習	・「色と形のイメージと心理的効果」について講義 ・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成(アイデア出し)	・平面構成のアイデア
10	7月8日	実技	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成(ラフデザイン、配色プラン)	・平面構成の配色プラン
11	7月15日	実技	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成(下描き、着彩)	・平面構成の着彩
12	9月2日	実技	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成(着彩、仕上げ)	・平面構成の着彩
13	9月9日	実技	・「暖かい／冷たい」を表現した平面構成の作成(着彩、仕上げ) ■提出	・平面構成の着彩
14	9月16日	講評会	・ペン画による線画「暖かい／冷たい」の平面構成の講評	
15	9月30日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
課題内容や資料のプリントを随時配付。講義の授業ではテキスト「DESIGN BASIC」を持参のこと。				

科目名	デッサン I B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	横山寛多
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	多摩美術大学油画科卒/イラストレーター						
授業の学習 内容	イラストを描くときに、デッサンがどのように活かせるのかを1枚のイラストを描いて仕上げる中で学んでいく。 その過程でイラストとデッサン両方の力を高めていく						
到達目標	道具の適切な扱い方の習得 デッサンの用語とその意味の理解 観る姿勢の習得						
評価方法と基準	提出物、課題の完成度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	実技	画材説明/絵で伝えるということ	人物クロッキー
2	5月15日	実技	『キャラクター』を描く/クロッキー	人物クロッキー
3	5月22日	実技	『リンゴ』デッサン	卓上クロッキー
4	5月29日	実技	スケッチ①風景/ラフ①	風景スケッチ
5	6月5日	実技	構図のこと/カメラの位置と角度	風景スケッチ
6	6月19日	実技	スケッチ②動植物/ラフ②	植物スケッチ
7	6月26日	実技	学生モデルクロッキー/ラフ途中講評	人物クロッキー
8	7月3日	実技	コンクール『イラストを完成させる』	人物クロッキー
9	7月10日	実技	講評①/加筆/ならべて見る	人物クロッキー
10	7月17日	実技	構成の話/講評②	人物クロッキー
11	9月4日	実技	ヌードデッサン(立ち)	人物クロッキー
12	9月11日	実技	ヌードデッサン(座り)	人物クロッキー
13	9月18日	実技	『トルソ』デッサン	人物クロッキー
14	9月25日	実技	『トルソ』デッサン/講評	人物クロッキー
15	10月2日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
デッサン道具一式				

科目名	写真テクニック I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早川花
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2)		
教員の略歴	美術大学講師3年・専門学校講師30年						
授業の学習 内容	この授業はカメラを通じて対象を見て写す最も基本的なものである。デジタル一眼レフカメラを使って構図、光、レンズ効果について様々な対象(=被写体)を撮影しながら学ぶ。一つの写真の絵作りをしっかりとやっていく。自分の思う撮影ができるようになるためには既にある様々な写真を見ることも大切である。						
到達目標	デジタル一眼レフカメラの基本操作ができるようになる。光を読み、絞りとシャッタースピードを使った撮影ができる。被写体によって構図を決め適切なレンズを選択できる。カメラと写真の用語を理解でき使うことができる。撮影した後プリントすることができる。						
評価方法と基準	授業毎に撮影したものを学習課題としてプリントした写真と夏期課題をプリントした写真＝提出物(90%)。筆記試験(10%)。						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・実習	自己紹介/カメラの仕組みを理解し基本操作ができる。	
2	4月28日	講義・実習	絞りとシャッターの役割を理解し違いを撮影できる。レンズによる写り方の違いを撮影できる。	人物写真の種類を挙げる。(ワークシート)
3	5月12日	実技	自然風景を絞りとシャッタースピードやレンズ効果を生かした撮影ができる。(行船公園)	自然風景の写真をプリントする。
4	5月19日	実技	人物/基本構図を標準レンズで撮影できる。	人物基本構図の写真をプリントする。
5	5月26日	実技	カメラを意識しない人物の表情を望遠レンズで撮影できる。	人物の表情の写真をプリントする。
6	6月2日	実技	自然風景・人物写真のプレゼンテーションができる。	撮影する物を用意する。
7	6月16日	実技	物の形と質感をカメラ位置と光の方向を見ながら撮影できる。	物の写真をプリントする。
8	6月23日	実技	複数の物を構成し構図を考えて撮影できる。	物の写真をプリントする。
9	6月30日	実技	建物の外観や室内を撮影することができる。	建物・室内の写真をプリントする。
10	7月7日	実技	建物の外観や室内と人物を撮影することができる。	建物・室内・人物の写真をプリントする。
11	7月14日	試験・講義・実習	カメラと写真の用語を理解できる。/写真史概要を理解でき自分で調べることができる。/物・建物の写真をプレゼンテーションできる。	夏期課題「自分の住む街」をスマホカメラで撮影しプリントする。
12	9月1日	実技	夏期課題のプレゼンテーションができる。写真を組み合わせることができる。	
13	9月8日	実技	光源の位置と高さで明暗(光と影)が変化することを人物撮影で理解できる。=ライティング	ライティングの写真をプリントする。
14	9月15日	実技	光源の位置と高さで明暗(光と影)が変化することを人物撮影で理解できる。=ライティング	ライティングの写真をプリントする。
15	9月22日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】 □

毎回講師自作の授業内容プリントを配布する。学校共用のデジタル一眼レフカメラ・交換レンズ、三脚を使用する。SDカードは各自用意する。

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部二年Aクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部一1年Aクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイスメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作 □	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Bクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	5月14日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月21日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月28日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月4日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月18日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月25日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	7月2日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	7月9日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月16日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	9月3日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	9月10日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月17日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月24日	試験	前期理解度試験	
15	10月1日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部二1年Bクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位		
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。						
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Bクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイスメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作 □		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼間部二 1年Cクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	5月14日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月21日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月28日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月4日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月18日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月25日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	7月2日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	7月9日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月16日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	9月3日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	9月10日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月17日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月24日	試験	前期理解度試験	
15	10月1日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	レイアウトデザイン	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	肥後未央
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部 2 1年Cクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	武蔵野美術短期大学部デザイン科グラフィックデザイン専攻卒。株式会社レイアップにて株式会社バンダイ向けの玩具、ゲーム企画からキャラクター展開、商品スケッチ、パッケージ等の経験を経てイラストレータへ。						
授業の学習 内容	①企画書作成の素材として、Photoshopとillustratorを使用する。伝わりやすいレイアウトと、ペンタブレットでイメージの作り方を体験する。 ②企画書作成、企画内容を具体的に伝えるための画像作成の方法を学び、背景と文字のカラーの組み合わせも意識して構成していく。 ③企画内容をより伝えるためのビジュアルイメージ、レイアウトを的確に作成できるようになることを目指す。 ①～③をふまえ前期は基本操作。後期に活用として企画書をイメージして、素材を作成し見やすいレイアウトを作成していく。						
到達目標	・Photoshopで画像加工の方法を練習し、illustratorとの違いを理解する。 ・仕上げたいイメージで何を伝えたいかを判断し表現できることを目指す。 ・デザインコンセプトを考え、伝わりやすいレイアウトができることを目標。						
評価方法と基準	■評価点(課題評価):100点満点 評価点はコンセプト・クリエイティビティ・プレゼンテーション。(授業内において、報告なしのスマートフォンの使用、居眠りは評価点から減点していく) * 理想的な達成レベルの目安:テーマを理解して、デザインコンセプトをしっかりと考え見やすく表現できていること。仕上げが丁寧にできていること。* 標準的な達成レベルの目安:テーマを理解して伝えたいことをレイアウトできていること。* 準備学習、時間外学習は評価点に含まれる。できていない場合は減点。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義と演習	1)Photoshopで画像を扱うための基本操作1ができる。2)練習1:自己紹介カード作成を作成できる。		授業後、Photoshopの教科書でツールの復習をしておくこと。
2	4月26日	講義と演習	1)Photoshopで画像を扱うための基本操作2ができる。2)練習2:切り抜き合成妖精を作成できる。		
3	5月10日	講義と実技	1)Photoshopで画像を扱うための基本操作3ができる。2)練習3:プレゼンテーションとシルエットを作成できる。		
4	5月17日	試験と演習	1)Photoshop基本操作小テスト。2)123週で仕上がっていない課題の仕上げ。		配布したPhotoshopの理解度のアンケートに記入。
5	5月24日	講義と実技	応用課題1:Photoshopでコラージュ「2つの属性を持つ、武器を作ろう」 1)素材集めることができる。2)加工することができる		
6	5月31日	講義と実技	応用:武器の設定と画像をレイアウト 作品の発表 講評		
7	6月7日	講義と演習	Illustratorで操作1:オブジェクト基本操作1)オブジェクトを作成できる。2)移動できる。3)パスファインダを理解できる。3)整列を使うことができる		授業後、Illustratoの教科書でツールの復習をしておくこと。
8	6月21日	講義と演習	Illustratorで操作2テキスト基本操作1)ガイドを作成できる。2)文字のサイズを変更できる。3)カラーを含む基本レイアウトを作成できる。		
9	6月28日	講義と実技	応用課題2:Photoshop、Illustratorで、「オリジナルモンスター作成」。1)Illustratorでアートボードを作成スライドするpdfが作成ができる。2)モンスターを設定できる。3)素材集めることができる。		1)授業内でモンスターの設定が、できなかった場合は設定を考えてくること。2)素材集めができなかった場合、次回モンスターを作成できるように集めておくこと。
10	7月5日	講義と実技	1)色のイメージと組み合わせが考えられる。2)素材作りを作成できる。		
11	7月12日	講義と実技	1)課題2の背景を作成できる。2)背景とキャラクターの差別化をすることができる。		
12	7月19日	講義と実技	1)課題2のモンスター設定とあらずし、キャッチコピー、画像を1枚にまとめることができる。2)夏休み宿題講評会。		夏休み宿題:スマートフォンを想定して爽快感のあるゲーム企画を考えてくること。後期で夏休みの宿題を使用します。
13	9月6日	講義と演習	1)データの確認、調整することができる。、最終チェック。		
14	9月13日	講義	キャラクター設定発表することができる。講評会		
15	9月27日	試験	課題評価試験		
準備学習 時間外学習			設定案、企画内容などが授業内で仕上がらなかった場合は時間外学習。		
【使用教科書・教材・参考書】 □					

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 宇津木 洋子
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部二年Cクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。					
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける					
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレジメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部1年Cクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作 □		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科屋間部二 3年Bクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を勤める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎となります。1,2年生の復習と確認をしながらたくさん描く						
到達目標	まず様々な対象を描けるようにする。特にパース(図学遠近法)を完璧に習得することを目標にする						
評価方法と基準	成績、授業態度の総合評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	実習と講義	幾何学形態を描くⅠ	遠近法の復習
2	4月27日	実技	幾何学形態を描くⅡ	観察スケッチ
3	5月11日	実技	日用品をモチーフ	自分の日用品を描いてみよう
4	5月18日	実技	工業製品をモチーフに	自分の日用品を描いてみよう
5	5月25日	実習と講義	風景画のパース	観察スケッチ
6	6月1日	実技	風景画のパース	観察スケッチ
7	6月8日	実技	ヌードクロッキー	人物写真をスケッチしよう
8	6月15日	実技	人物描写 クラスメートを描く	家族や友人をクロッキーしよう
9	6月22日	実習と講義	石膏デッサン	ネットや本で参考作品を観る
10	6月29日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
11	7月6日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
12	7月13日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
13	9月7日	実習と講義	室内空間のパース	実物か写真でクロッキー
14	9月14日	実技	室内空間のパースⅡ	実物か写真でクロッキー
15	9月28日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 鉛筆セット、練り消しゴム、カッター				